

日向飢肥人買船実録 全

①

日向國那珂郡飢肥人買船實録原本比無内題
有外題如此

西國筋御郡代塩谷大四郎様御支配所

日向国にて被召捕候人買船の事

文政十三年庚寅六月中旬、日州細嶋市中祇園會にて
賑ひ候処、薩摩屋何某と申もの方へ、童子兩人参り、あまり
空腹にて候間、めしを給べさせ呉候様相頼候に付、扱何方の
者かと問候処、吉人は江戸牛込益五郎、吉人は大坂西宮
勝蔵と申ものゝ由申之候、しかるに其家の女房、西宮産にて
猶又委敷尋候処、兩人共人買に被勾引、當所細嶋へ船かゝり
居候処、祇園會為参詣、船頭一同、陸へ上り候を幸ひに、勝蔵
手水に行躰にして、益次郎が袖を引、其場を逃出候、これ
より國元へ帰る積の由申立候、亭主夫婦も甚いたわしく
存、當御陣屋へ、其段御願申上候はゞ、宜敷様可被成下間、罷出
候様申聞、富高御陣屋へは、細嶋ち三十丁余有之段、教へ
遣候、此所は塩谷様御手代志賀専右衛門と申人被相詰、兩人
のものへ對面の上、様子御尋に付、薩摩屋にて演説の次第、
且大坂表二艘一同出船、乗組子供十二人、船頭・水主数人、
飢肥士三人、又吉艘は子供三人、船頭の外は不申（存力）候、然処、
今日、祇園會参詣仕候者共、子供中・船頭兩人、水主三
四人余は、船中へ居候段申上候処、即刻兩人の船頭・水主二人

②

被召捕候内、残りの水主は逃失せ、飢肥の士三人は逃歸り候由、
夫ち跡十三人の子供并被召捕候者、御役所へ御召寄に
相成、子供中へ御吟味有之候処、十吉人は被勾引
四人は被賣候者に相違無之候、右船吉艘は、住吉丸と申、
三百石積、吉艘は摸稜丸と申、千貳百石積、於日州
御高五万石余、飢肥居城伊東修理太夫様御領分の
船にて、大坂蔵屋敷ち子供を乗せ、日向の方へ下り候由、
蔵屋敷にては三十人余有之候処、拾五人は船乗り不申内、
逃候由、大坂にて飢肥役人ち道頓堀綿屋武平と申
ものへ相談有之、武平ち書付吉通相認、飢肥役人へ
渡申候、其訳は拾五人の子供何れも孤にて、親類も無之に付、武平
拾ひ取候て、飢肥へ奉公に差出候と申趣意に御座候、尚又其砌
武平ち申聞候には、萬一何方にて御尋有之候共、親類も何にも
無之ものと可申上、もし有躰の事申候においては、辛きめ
見せ候段くれく申立候に付、皆々畏り候、則大坂町

御奉行所へも其趣口達に相成候由、大坂にて武平ち子供へ申聞候処は、日州へ罷下り、廿日程も逗留致候得ば、故郷へ差歸し可申と申聞候由、且大坂逗留中は甘き物杯給へさせ、極々不便を加え候躰にもてなし、船へのせ、夫ち三度の食事も船頭ち細きにぎりめしきつ宛渡し、或は一日に兩度渡し候事も有之、甚空腹凌兼、ひそかに俵より生米をつみ出したべ候処、船頭見當り、大に怒り打擲いたし候由、五月ち

③ 六月迄廿日余、船中に居候、其間誠に艱難辛苦は無限よし、右船、飢肥湊へ近付、既に船がゝり可致候処、何分進不申候に付、船頭・水主精力を尽し相働候へ共、兎角跡へ戻り候様、船中の一同相覚へ無余義細嶋湊へ船がゝり致候由、飢肥領へ着候はゞ、人買も存分仕、済し可申の処、引戻され、夫ち露頭におよび、子供も口虎を通れ候は、全く伊勢へ抜参り致候道中にて被勾引候童子に有之候、因て大神宮の御加護有之候と沙汰いたし候、童子の内、寅吉・与吉・寅之助・彘ひ四人は宿元ち飢肥へ奉公に差出申候、中にも彘ひは孤子にて、祖父祖母へ養育せられ居候を、伯父ち強て奉公に出し候よし、萬吉は抜参致候を、尾州名古屋にて、飢肥役人市井元右衛門と申人大坂の方へ連越、元右衛門ち申聞候には、日向と申所は、結構の所にて、米の飯・菓子・饅頭杯、日々給へさせ、脇差も買て与へ其上参宮致させ候て、国元へ返し候と申聞候由、其外の子供も夫々来歴有之候間、委敷は承り不申、大意萬吉申で候様の儀と聞候右の通相分候に付、子供・船頭・水主共に、細嶋へ町預けに相成子供は、日田へ参り候迄は、手習杯致居候由、則前段の趣日田御陣屋へ申達に相成候處、江戸表へ御窺に相成、御下知の上、十一月下旬に至、子供・船頭・水主何れも日田へ御召寄の上、大坂御奉行所へ御引渡に相成候、其道中、御役人

④ 差添にて、子供は銘々新敷小駕籠に乗せ、旅宿賄方其外手当嚴重也、日田御陣屋にて衣類等も新規に仕立に相成銘々被下置候、船頭・水主は別宿にて罪人に乗せ候駕籠へ乗り候、大坂御引渡の上、船頭・水主は入牢致候由、右子供の内弥吉・松次郎兩人は病氣にて細嶋へ残り、明る卯二月中旬に至り病平癒、日田へ罷越、其上大坂へ参候、道中手当右の通也

子供名前国所左の通
住吉丸乗組

尾道中新町塩屋弁蔵倅

奉公

十三才

寅吉

同断

同所忠兵衛倅

十才

与吉

箱根友八倅

浜松において被勾引
摸稜丸乗組

十三才

友蔵

江戸本庄大嶋防州屋(名脱力)倅

三嶋にて同断

十三才

吉五郎

同麻布福田屋金兵衛倅

名古屋にて同断

十三才

萬吉

同牛込加賀屋茂兵衛倅

大濱にて同断

十三才

益五郎

同神田田嶋屋弥蔵倅

荒井にて同断

十二才

富吉

⑤

同本庄三河屋善八倅

宮にて同断

十三才

米吉

大坂江戸堀相場屋

奉公

十三才

虎之助

大坂上塩町近江屋弥七倅

大坂にて同断

十二才

常吉

京都堀町大工幸七倅

大坂にて同断

十才

卯之助

西宮小松屋忠兵衛倅

石部にて同断

十二才

勝蔵

河内三栗屋村

奉公

十四才

彖ひ

同所長兵衛倅

宮にて被勾引、此者は病気に
付、同州細嶋へ滞留いたし候

十五才

弥吉

同所長兵衛倅

同断 弥吉病気に付、介抱付添 十六才

松次郎

以下略